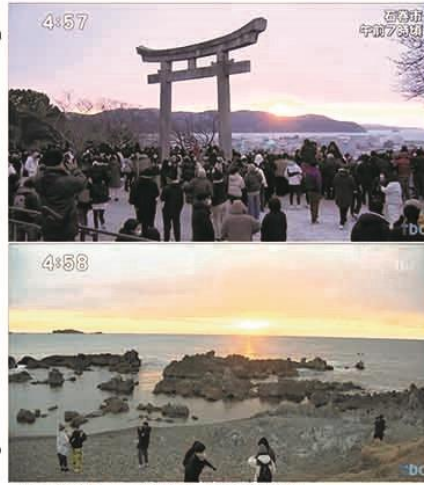


# 恭賀新年



▲上・南三陸町 下・気仙沼市



▲上・石巻市 下・気仙沼市 (tbc東北放送)

東日本大震災で宮城県の漁港から流された漁船が伊豆諸島の八丈島に漂着しているのが見つかりました。10年近く漂流していたとみられています。

漁船が漂着したのは、八丈島の西側にある八重根漁港です。

11日の朝、港の出入り口付近に漂っているのを見つけ、漁協関係者たちがロープをかけて陸に引きあげました。全長5メートルほどで、船の中には海水がたまり、サンゴのようなものが数多く付着していたということです。

船体の番号が読み取れたため問い合わせたところ、東日本大震災のときにおよそ650キロ離れた宮城県気仙沼市の唐桑半島の漁港から流された船と分かったということです。10年近く漂流していたとみられますが、詳しいことは分かっていません。

(12月20日 NHK NEWS WEB)

元日の県内は各地で雪となりましたが、海岸などには初日の出を見ようと大勢の人が集まりました。

東日本大震災から10年となる南三陸町の海水浴場は、砂浜が雪化粧するなか新年を迎えました。

午前7時過ぎに雲の間からオレンジ色の太陽の光が射しこむと、訪れた人は手を合わせたり、写真に収めたりしていました。

石巻市の被災地を一望する高台の公園では、午前7時ごろ、山の向こうから太陽が顔をのぞかせました。訪れた人は、手を合わせるなどして、新年への決意を新たにしていました。

(1月1日 KBC東北放送)



八丈島で船の引きあげ作業にあたった人は「船はひっくり返らずに沈み気味に浮いていて、その下にはムロアジなど魚の群れがいました。東日本大震災で流された船と知って、どうやってここまで流れてきたのだろうと考えました」と話していました。



## 10年漂流 東日本大震災で流された漁船 八丈島で見つかる

we support

**RQ**  
災害教育センター

MONTHLY

復興支援 『すけさきた』  
かめぼん しんぶん

「東北に黒糖を送ろう！大作戦しんぶん」改め

「すけさきた」とは  
宮城県登米市あたりの言葉で  
「ボランティアに来たよ」という  
意味である

JANUARY  
**11**  
2021